

レポート/インタビュー

マウナウエスト・西本尚功社長

有機JAS生搾りにこだわった
ハワイ産ノニジュース

「健食原料・素材・OEM展2012」

ノニ製品の市場はここ10年で拡大し、その規模は300億円に達しようとしている。様々な企業が独自の製品を打ち出しているが、市場を牽引しているのは飲料である。大方の企業が発酵飲料を扱う中で、今回、紹介するマウナウエスト(川崎市中原区、☎044・7502・7075)は、ハワイ産ノニを使った有機JAS生搾り飲料にこだわり続ける企業である。来年の「健食原料・素材・OEM展2012」(ヘルスビジネスマガジン社主催)に初出展することになった。西本尚功社長に今後の抱負を聞いた。

—長い間ハワイ産ノニ製品にこだわっているようですが。

西本 創業が平成12年(2000年)からですが、今年で12年目となります。ノニジュース「マウナウエスト100%」、サプリメント「マウナウエストニカプセル」などハワイ産ノニを用いた製品を、百貨店、専門店を中心に販売してきました。ジュースは発酵飲料ではなく、有機JASの

生搾りジュースにしていることが、大きなこだわりであり、特徴です。ノニの生搾りジュースは日本では、他社ではあまり扱っていないのですが、新鮮なノニの味を楽しんでいただきたい。

—生の状態で保存や輸送で苦労されませんか。



西本 生の状態で保存しながら、ハワイから輸入することは、とてもたいへんなことでした。しかも鮮度を維持させるのがたいへん難しく、輸送方法も航空便であることが、コスト面でも影響しました。しかし、その後、容器なども改良して、船便での輸送に切り替えることができました。

—ノニの生搾りジュースを日本で販売することがいかにたいへんなことか学んできましたが、有効性に関しては生搾りでの科学的データがしっかりあるため、良さを伝えていけたらと思います。

西本 研究面では、提携先の米国ハワイ大学と協力しながら、試験を行うことに早い段階で着手してきました。また、ノニに関する世界初の学術発表がハワイ大学、ジョン・A・バーンズ医科大学の古澤英一博士によって92年に米国がん学会で行われ、ノニの多糖体がん細胞増殖抑制など関係していることがわかりました。弊社のマウナウエスト商品は古澤氏監修により定期的にマウスの実験を行い、安全、安心、有効性が実証されています。



—弊社主催の「健食原料・素材・OEM展2012」では初めての出展となりますが。

西本 ハワイ産ノニの生搾りジュースを11年も売り続けてきたということとは、リピート客からの一定の評価と考えています。そこで、OEM製造によって他社ブランドでの提案も行うことにしました。

—来年4月に行われる「健食原料・素材・OEM展2012」が提案の場として最も適していると思い、出展することになりました。当日は製造元のノニ・バイオテック・インターナショナル社のスタッフも来日し、展示ブースでのPR活動や弊社のプレゼンテーションセミナーで協力が得られます。この展示会で業界の多くの方との出会いを楽しみにしています。